



『〇〇年生らしくなったね……。』

「芝生の緑がきれいです。天気の良い日には校庭でみんなと元気に遊びましょう。これから朝のあいさつをします。」(6年生当番)「はあい。」(1, 2年生を中心に……。)
「おはようございます。」(おはようございまあす。)

久しぶりに校庭の月曜朝会ですね。寒いけど気持ちがいいですね。

今、6年生の代表の人が、あいさつの前にひとことお話をしてくれました。自分で考えて今週の始まりの言葉を考えてくれました。6年生らしい言葉でした。大きな声でみんながそのあとに続けやすいようにしっかりと役割を果たすことができました。とても立派でした。6年生らしく、しっかりとできました。

さて今日は、その「〇〇年生らしく。」という話をします。

最近、6年生がとても6年生らしく立派になってきたな、といろいろな場面で思うのです。朝の登校の時にも笑顔で挨拶できたり、話をしっかり聞いてくれたり、近くにいる年下の子が困っていると黙って手を貸してあげたり……。ひとつひとつはごく当たり前のことかも知れないけれど、その当たり前のことが気持ちよくできる。

そして、何よりも、6年生の先生がちょっと前におっしゃっていた言葉「今の6年生は言われなくても、自分たちで考えて、気を利かせてどんなことでも進んでやろうとすることができる。」

これは素晴らしいことだと思うのです。言われてするのではなく言われなくても自分で考えて行動する。人のことを考えて、人の役に立つことをする。素晴らしいことです。

6年生ばかりをほめているけれども、これはどの学年の人たちにも言えることなのです。5年生も5年生らしくなって話の聞き方が変わりました。もうすぐ6年生になるんだなあ、ということが感じられます。4年生も4年生らしく高学年らしい思いやりのある行動がとれるようになってきています。3年生も去年まで2年生だったとは思えないほど、大きくなったのもくなりました。2年生ももうすぐ3年生だなあ、何でも自分でしっかりできるんだなあと感心します。1年生もついこの間までとは大違い、もう年長さんとは違います。すっかり小学生らしくなって、もうすぐ黄色い帽子もとれて、ランドセルの黄色いカバーもとれて、来年には2年生、弟や妹ができるのですね。どの学年も今の学年のあたり前のことがちゃんとできて、6年生はもうすぐ中学生です。去年の子とおと年の子と高学年の皆さんが低学年だった頃の様子を思い出して、「こんなに大きく、たのしくなったんだ……。』と、つい考えてしまいます。

前にも話しましたね。

「大きくなるということは、できるようになったことがふえること。

そして、いろいろなことができるようになったということは、やってはいけないこと、やらなければいけないことがふえた、ということ。

そして、大きくなるということはじぶんよりもちいさな子がふえるということ。

だから、少しずつがまんをして年下の子のめんどうを見たり、あたり前のことをあたり前にがんばれたりできるようになること。」なのですよ。

6年生はもちろん、6年生ばかりではなく1年生も2年生も、3年生も4年生も、5

年生も、今の学年のあたり前のことがきちんとできるようになってきて、そんな様子を見るたびに、とっても嬉しくなるのです。

逆に、注意されないといけない。こわい人のいうこと以外はきかない。そんな人はとっても悲しいですね。

今年ももうすぐ終わり、そして新しい年もまぢかです。

今年1年間の自分を振り返り、どのくらい「〇〇年生らしく」なれたか。しっかり考えてみてください。あと2週間くらいすると、先生たちからも、「〇〇年生」らしくなることができたかたかどうかを通信簿で教えてもらえます。

今の自分に自信をもって、どの学年の皆さんも来年の新しい自分づくりにそなえてください。

お話、終わります。

はあるよこい はあやくこい

